

## 平成29年度初任者研修 授業研修を開催！ ～実践的指導力の向上を目指して～

10月19日(木)小雨が降り続く中、平成29年度初任者研修授業研修（高等学校の部・Bブロック）が本校を会場として開催されました。異校種の初任者を含め総勢18名の先生方が来校されました。この研修は教育公務員特例法を受け実施されたものです。採用されて半年が過ぎ、研修も進んできたからでしょうか。お互いに交わし合う挨拶のなかにも、落ち着いた様子を感じられます。

学びの丘所長の鈴木晴久様からご挨拶をいただき、その中で箕島高校の歴史と校歌に関わるエピソードに触れていただきました。松下教頭からの学校概要に引き続き、宇恵校長から「初任者に望むこと」と題して講話をいただきました。これからの教師に求められる資質、さらに個性豊かな教員の必要性について熱く語りかけられました。

授業実施者の学習指導案の確認の後、本校初任者、柳本有希教諭による「現代文A」の研究授業が3年2組（情報経営科）において行われました。柳本教諭は本時の目標を「共進化のしくみについて理解すること」に置き授業を展開しました。本校教員を含めて30名近い参観者の中、タブレットと板書をバランスよく取り入れ、生徒の授業理解を促しました。また、学習活動においてはペア学習を有効に取り入れ、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を目指しました。



**柳本教諭の感想：**今回、研究授業を行うにあたり、早くから準備をし、緊張しつつ授業に挑みました。私が重点を置いていた「ペア学習」はまだまだ改善の余地はありますが、さまざまな校種・教科の先生方に授業を見ていただき、研究協議を行うことで、よりよい授業にしていくためのヒントを得ることができました。今回の経験を生かして、引き続き、生徒にとってわかりやすい授業作りを目指したいと思います。

続いて、同じく本校初任者の森川咲綺教諭による「簿記」の研究授業が1年2組（情報経営科）にて行われました。森川教諭は本時の目標を「8桁清算表への記帳が正しく行えるようになること」に置き、授業を展開しました。理解するまでに時間のかかる簿記の授業ですが、タブレットと板書を効率よく駆使し、生徒の授業理解を促進しました。パワーポイントの事前準備が整い、落ち着いた雰囲気での授業実践が行えました。

**森川教諭の感想：**この日の授業内容では、すべてを板書することは難しいと考え、様々な先生方に授業を見ていただけるよい機会でもあり、初めてタブレットを用いた授業に挑戦しました。授業中は生徒の表情をよく観察し、理解度を推し量ることに努め、わかる授業の展開を目指しました。また、授業終了後の研究協議では、よかった点、改善すべき点、両方の意見をいただき、次の授業に反映させていきたいと考えています。



研究授業を終え、3つのグループに分かれた初任者の皆さんは、良かった点、改善すべき点に積極的に意見を交換し、全体発表にて認識の共有を図っていました。